

大学院学習案内及び教授要目

【教育課程の概要】

科学技術や経済のグローバル化がますます進む 21 世紀にあって、これらを持続可能な形で発展させていくためには、自らが専門とする分野のみならず、自国の文化や他国の歴史、人々の考え方などにも深い造詣を有し、国や組織を超えて社会を牽引できる国際的なリーダーの存在が不可欠である。このような社会の要請に応えるため、本学では、研究科を横断したグローバルリーダー教育課程を設置した。

本教育課程では、本学の特長である深い専門能力を背骨としながら、それを他分野の科学技術の発展に波及させるための素養と、我が国と世界の文化や技術マネジメントに関する知識、あるいはコミュニケーションスキルなどの人間力を育み、科学技術のみならず、政治や経済、国際関係を含めた各界のリーダーとして活躍する国際的博士リーダー人材を育成することを目標としている。

この目標を達成するため、本教育課程では、学生が所属する専攻における専門課程の教育に加えて、リーダーシップ基礎科目、道場科目、オフキャンパス教育科目を履修することを求める。特に道場科目では、専門分野の異なる学生のグループワークにより、コミュニケーションやリーダーシップ能力の涵養だけでなく、他者の成果を理解し、自らの専門分野に対する自信を高めることが期待される。さらに、本教育課程の修了に際しては、所属する専攻における専門課程での修了審査に合格することに加えて、グローバルリーダー教育院が実施する「ディフェンス」において様々な分野の教員団に自らの履修成果の社会的意義や将来構想を説明し、国際的リーダー人材として十分な素養を身につけたと評価されることを求める。

このような教育課程を所属専攻における専門課程と両立させるため、本課程では原則として修士・博士一貫型の教育体系を採る。また、本教育課程に所属する学生の授業料は免除する。

【対 象】

本学に所属する修士課程学生。

ただし、本教育課程に所属するためには、

- リーダーシップ基礎科目群から 4 単位以上を修得し、後学期開始前に実施される選抜試験に合格すること
- 所属専攻の指導教員から、本教育課程への所属についての承諾を得ることが必要である。したがって、本課程への所属は修士課程 1 年次後学期以降からである。本課程への所属を希望する学生は、リーダーシップ基礎科目群の履修申告を行い、4 単位以上を修得しておくこと（所属する年度の 9 月末までに修得する見込みの者を含む）。

【選抜方法】

志願者を書類考査の上、合宿形式の選抜試験を実施する。選抜試験においては、提示される課題に対する調査研究とその成果の発表、グループワークによる調査研究と成果の発表を課し、グローバルリーダーとなるための素養と姿勢を評価する。

【修了認定】

所属する専攻における博士後期課程修了認定に加えて、本教育課程科目から 16 単位以上を修得し、グローバルリーダー教育院が実施するディフェンスに合格することを要件とする。修了要件を満たした場合は、本教育課程の学位記を授与する。授与する学位は所属する専攻の学位に準ずる。

【問い合わせ先】

ご不明な点は下記担当までお問い合わせ下さい。

グローバルリーダー教育院事務室

TEL : 03-5734-3116

E-mail : agl.jim@agl.titech.ac.jp

グローバルリーダー教育課程科目一覧

授業科目	単位	担当教員	学期	備考	分類
<在籍する専攻の授業科目>					
在籍する専攻の課程を参照のこと				(注1)	
<リーダーシップ基礎科目群>					
人間力基礎第一	0-1-0	パルバース・橋爪	前	(注2)	必修科目
人間力基礎第二	0-1-0	パルバース・橋爪	後	(注2)	必修科目
人間力基礎第三	0-1-0	パルバース・橋爪	前	(注2)	必修科目
人間力基礎第四	0-1-0	パルバース・橋爪	後	(注2)	必修科目
人間力基礎第五	0-1-0	パルバース・橋爪	前	(注2)	必修科目
人間力基礎第六	0-1-0	パルバース・橋爪	後	(注2)	必修科目
人間力基礎第七	0-1-0	パスバース・橋爪	前	(注2)	必修科目
人間力基礎第八	0-1-0	パルバース・橋爪	後	(注2)	必修科目
グローバル COE エネルギー 科学技術社会論 I	2-0-0	中島・蟹江ほか	前	(注3)	社会科学系/ 科学技術系
社会的合意形成の理論と技術	2-0-0	桑子	前	(注3)	社会科学系
共生と紛争のシステム科学	2-0-0	木嶋	前	(注3)	社会科学系
多文化共生社会論	2-0-0	江川	前	(注3)	社会科学系
国際共存	2-0-0	日野出	前	(注3)	社会科学系/ 科学技術系
企業社会論	2-0-0	伊藤ほか	前	(注3)	社会科学系
社会経済システム論	2-0-0	出口	前	(注3)	社会科学系
合意形成学	2-0-0	猪原ほか	前	(注3)	社会科学系/ 科学技術系
新エネルギービジネスと社会受容	1-0-0	西條	前	(注3)	社会科学系
科学史技術史科学方法論 I	2-0-0	梶・中島・藁谷	偶数年前	(注3)	人文学系
科学史技術史科学方法論 III	2-0-0	梶・中島・藁谷	奇数年前	(注3)	人文学系
物質科学概論	2-0-0	八島	前	(注3)	科学技術系
戦後文学論	1-0-0	井口	前	(注3)	人文学系
近代日本の思想と文学	1-0-0	野網	前	(注3)	人文学系
日本の近代	1-0-0	猪瀬	前	(注3)	人文学系
仏教の比較文化論	1-0-0	植木	前	(注3)	人文学系
法哲学	2-0-0	宇佐美	前	(注3)	社会科学系
Strategic Management of Technology	2-0-0	宮崎	前	(注3)	社会科学系
History of Science and Technology and Environmental Problems	2-0-0	梶	前	(注3)	社会科学系/ 科学技術系
Design Thinking	2-0-0	梅室	前	(注3)	社会科学系/ 科学技術系
Evaluation in International Perspective (国際的視点の評価)	2-0-0	佐藤	後	(注3)	社会科学系
ナレッジマネジメント	2-0-0	寺野・吉川	後	(注3)	社会科学系
知財活用サービスマネジメント	2-0-0	新田	後	(注3)	社会科学系
グローバル COE エネルギー 科学技術社会論 II	2-0-0	中島・野崎ほか	後	(注3)	社会科学系/ 科学技術系
科学史技術史科学方法論 II	2-0-0	中島・梶・藁谷	偶数年後	(注3)	人文学系
科学史技術史科学方法論 IV	2-0-0	梶・中島・藁谷	奇数年後	(注3)	人文学系
Ergonomics for Organization and Systems Design	2-0-0	伊藤・青木	後	(注3)	社会科学系/ 科学技術系

Surveys and Experiments in Environmental Economics	1-0-0	肥田野	後	(注3)	社会科学系
Advanced Topics in Ethics and Economics	1-0-0	宇佐美	後	(注3)	社会科学系
<道場科目群>					
科学技術系道場導入第一	1-0-0	古井	前	(注4)	
科学技術系道場導入第二	1-0-0	古井	後	(注4)	
人文社会系道場導入第一	1-0-0	山田	前	(注4)	
人文社会系道場導入第二	1-0-0	山田	後	(注4)	
科学技術系道場グループワーク第一	0-2-0	古井	前	(注4)	
科学技術系道場グループワーク第二	0-2-0	古井	後	(注4)	
人文社会系道場グループワーク第一	0-2-0	山田	前	(注4)	
人文社会系道場グループワーク第二	0-2-0	山田	後	(注4)	
科学技術系道場修了プロジェクト第一	0-1-0	古井	前	(注4)	
科学技術系道場修了プロジェクト第二	0-1-0	古井	後	(注4)	
人文社会系道場修了プロジェクト第一	0-1-0	山田	前	(注4)	
人文社会系道場修了プロジェクト第二	0-1-0	山田	後	(注4)	
<オフキャンパス教育科目群>					
グローバルリーダーオフキャンパス導入第一	1-0-0	佐藤	前	(注5)	
グローバルリーダーオフキャンパス導入第二	1-0-0	佐藤	後	(注5)	
グローバルリーダーオフキャンパス実習第一	0-3-0	佐藤	前	(注5)	
グローバルリーダーオフキャンパス実習第二	0-3-0	佐藤	後	(注5)	

- (注1) 本教育課程を修了するためには、修士課程、博士後期課程双方において、在籍する専攻の修了要件を満たすことを要する。
- (注2) 本教育課程に所属するためには、人間力基礎第一～第八から2単位以上を修得することを要する。
- (注3) 本教育課程に所属するためには、(注2)の要件を含み、リーダーシップ基礎科目群から4単位以上を修得することを要する。
- (注4) 本教育課程を修了するためには、(注1)の要件に加えて、科学技術系・人文社会系双方の道場に所属し、導入・グループワーク・修了プロジェクトの単位(合計8単位)を修得することを要する。導入・グループワーク・修了プロジェクトの履修は開講学期を問わないが、それぞれの道場においてこの順で履修すること。
- (注5) 本教育課程を修了するためには、(注4)の要件に加えて、グローバルリーダーオフキャンパス導入ならびに実習の単位(合計4単位)を履修することを要する。グローバルリーダーオフキャンパス導入ならびに実習の履修は開講学期を問わないが、この順で履修すること。

[教授要目]

<在籍する専攻の授業科目>

在籍する専攻の課程を参照のこと

<リーダーシップ基礎科目群>

99331, 99333, 99335, 99337

人間力基礎第一, 第三, 第五, 第七 (Fundamentals of Humanity I, III, V, VII)

前学期 0-1-0 ロジャー・パルバース特命教授・橋爪大三郎教授

理工系の専門知識や能力を将来, 確実に実社会に活かし, 人類社会の飛躍と発展を先導できるような, 叡智あふれる創造性を涵養するため, 人類社会を支えるさまざまな価値観や思想, 哲学などの融合した, 大柄な図柄を読み解く力を身につける。

99332, 99334, 99336, 99338

人間力基礎第二, 第四, 第六, 第八 (Fundamentals of Humanity II, IV, VI, VIII)

後学期 0-1-0 ロジャー・パルバース特命教授・橋爪大三郎教授

理工系の専門知識や能力を将来, 確実に実社会に活かし, 人類社会の飛躍と発展を先導できるような, 叡智あふれる創造性を涵養するため, 人類社会を支えるさまざまな価値観や試走, 哲学などの融合した, 大柄な図柄を読み解く力を身につける。

* (注3) の授業科目については, 各科目の教授要目を参照のこと

* 自身の専門分野と異なる分類の科目を履修することが望ましい

<道場科目群>

科学技術系道場導入第一 99201

前学期 1-0-0 古井貞熙特任教授

科学技術分野における幅広い視野と能力を道場において身につけるため, 自身の主専門以外の分野における考え方, 知識, スキルの基礎を学ぶ。

科学技術系道場導入第二 99202

後学期 1-0-0 古井貞熙特任教授

科学技術分野における幅広い視野と能力を道場において身につけるため, 自身の主専門以外の分野における考え方, 知識, スキルの基礎を学ぶ。

人文社会系道場導入第一 99203

前学期 1-0-0 山田圭介特任教授

専門分野における知識と能力を産官学界を含む広く国際社会で活かしてリーダーシップを発揮するための能力を道場において身につけるため, それに必要な基礎的なスキルや考え方を学ぶ。

人文社会系道場導入第二 99204

後学期 1-0-0 山田圭介特任教授

専門分野における知識と能力を産官学界を含む広く国際社会で活かしてリーダーシップを発揮するための能力を道場において身につけるため, それに必要な基礎的なスキルや考え方を学ぶ。

科学技術系道場グループワーク第一 99205

前学期 0-2-0 古井貞熙特任教授

科学技術分野における幅広い視野や能力を活かし, 異なる専門分野を有する学生同士が協調し・

影響し合いながら、広汎な科学技術の課題の解決に取り組むことで、チームワークやリーダーシップを身につける。

科学技術系道場グループワーク第二 99206

後学期 0-2-0 古井貞熙特任教授

科学技術分野における幅広い視野や能力を活かし、異なる専門分野を有する学生同士が協調し・影響し合いながら、広汎な科学技術の課題の解決に取り組むことで、チームワークやリーダーシップを身につける。

人文社会系道場グループワーク第一 99207

前学期 0-2-0 山田圭介特任教授

専門的知識と能力を社会の中でどう役立て社会に寄与するかを、異なる専門分野を有する学生同士が協調し・影響し合いながら検討することで、チームワークやリーダーシップを身につける。

人文社会系道場グループワーク第二 99208

後学期 0-2-0 山田圭介特任教授

専門的知識と能力を社会の中でどう役立て社会に寄与するかを、異なる専門分野を有する学生同士が協調し・影響し合いながら検討することで、チームワークやリーダーシップを身につける。

科学技術系道場修了プロジェクト第一 99209

前学期 0-1-0 古井貞熙特任教授

科学技術系道場で身につけた幅広い知識と能力に基づき、産官学界を含む広く国際社会にインパクトを与える施策や概念を科学技術の視点から提案するプロジェクトを遂行し、グローバルリーダーとしての素養を磨く。

科学技術系道場修了プロジェクト第二 99210

後学期 0-1-0 古井貞熙特任教授

科学技術系道場で身につけた幅広い知識と能力に基づき、産官学界を含む広く国際社会にインパクトを与える施策や概念を科学技術の視点から提案するプロジェクトを遂行し、グローバルリーダーとしての素養を磨く。

人文社会系道場修了プロジェクト第一 99211

前学期 0-1-0 山田圭介特任教授

人文社会系道場で身につけた社会との関わりや文化、人間同士のつながりに関する知識をもとに、産官学界を含む広く国際社会にインパクトを与える施策や概念を社会的な視点から提案するプロジェクトを遂行し、グローバルリーダーとしての素養を磨く。

人文社会系道場修了プロジェクト第二 99212

後学期 0-1-0 山田圭介特任教授

人文社会系道場で身につけた社会との関わりや文化、人間同士のつながりに関する知識をもとに、産官学界を含む広く国際社会にインパクトを与える施策や概念を社会的な視点から提案するプロジェクトを遂行し、グローバルリーダーとしての素養を磨く。

<オフキャンパス教育科目群>

グローバルリーダーオフキャンパス導入第一 99251

前学期 1-0-0 佐藤勲教授

オフキャンパス実習を実施するために必要な基礎知識を学ぶ。教授内容は実習を行う派遣先の特徴、必要性に応じて異なるため、教育院長、メンター、指導教員と十分相談すること。

グローバルリーダーオフキャンパス導入第二 99252

後学期 1-0-0 佐藤勲教授

オフキャンパス実習を実施するために必要な基礎知識を学ぶ。教授内容は実習を行う派遣先の特徴、必要性に応じて異なるため、教育院長、メンター、指導教員と十分相談すること。

グローバルリーダーオフキャンパス実習第一 99253

前学期 0-3-0 佐藤勲教授

自らの専門分野の知識に加えて、科学技術系・人文社会系道場で身につけつつある人間力を実社会で試し、さらに高めるための実習を、学外の派遣先機関で行う。派遣先機関の決定に当たっては、学生の描くキャリアパスとの整合を図るため、教育院長、メンター、指導教員と十分相談すること。

グローバルリーダーオフキャンパス実習第二 99254

後学期 0-3-0 佐藤勲教授

自らの専門分野の知識に加えて、科学技術系・人文社会系道場で身につけつつある人間力を実社会で試し、さらに高めるための実習を、学外の派遣先機関で行う。派遣先機関の決定に当たっては、学生の描くキャリアパスとの整合を図るため、教育院長、メンター、指導教員と十分相談すること。